



にほんご教室日記 第141回

教室スタッフのボランティアさんが、普段考えていることや、受講生の様子などをお知らせしています。

● ボランティア研修会のこと

新しい年を迎え、ちょっとばかり華やいだ気分を味わったと思ったら、もういつのまにか梅、蠟梅の花も散り、モクレンは大きなつぼみをふくらませ、すぐそこに春が来ていることを感じさせます。この時期、今年には特にそうなのかもしれませんが、埼玉県や県国際交流協会及び地域の団体主催の日本語教室ボランティア向けのスキルアップ研修会が集中的に開催されています。AGA主催の研修会も2月4日に「地域の外国人に寄り添った支援を目指して」というテーマで、仲山淳子氏を迎え文化センターで開催されました。私は1月28日の県国際交流協会主催の研修会（経験者向け）にも参加したので、報告を兼ね二つの研修会の中で特にボランティアのだれもが共有すべきだと思われることをお伝えします。

県協会（SAIA）の研修会は、数年前AGA日本語教室でも講師にお願いした高柳なな枝氏で、大変わかりやすく講演していただきました。概要を以下に記します。

1 「わからない体験」をする

① 自分が知らない外国語を聞かされた時何を感じるか。

ルビ→読みがわかるだけ、「わかりましたか」はダメ、「絵カード」はすぐにわかる。

② 使えるものは何でも使う 文字・絵・言葉以外の手段・ゼスチャー・実物提示

2 おしゃべりを続ける

高柳講師はおしゃべりがとても大事だと言います。その時に注意することをあげます。

① 笑顔で楽しく ② 尊敬の気持ちで ③ 一緒に学ぶ姿勢 ④ 自分だけ話しすぎない

⑤ あいづち・うなづくこと ⑥ 相手の話の終わるのを待つ

3 やさしい日本語を話す

① ゆっくり、はっきり ② 簡単な言葉に言い換える ③ 短い文で言い直す

相手の日本語は当然のことながら未熟です。そのため、ついうっかりすると、つたない日本語を話しているその受講生の人格までも未熟だと思いがちです。これはすぐにも改めなければなりません。

地域の日本語教室では、「おしゃべり」はとても大事です。自分のことだけ話さず、みんなで楽しく話せると、受講生もやる気をなくさず、かえって喜びが感じられるようになります。自分の姿勢も振り返って思い当たることがあれば考え直さなければなりません。

以上が高柳先生の講演概要です。（AGA主催分は紙面の都合で省略）

もうすぐ新学期、楽しい日本語教室になるようみんなで努力したいと思います。

● AGAインド料理教室！

日時：2024年3月17日（日）10：00～14：00

場所：上尾市コミュニティセンター2F調理室

内容：インドカレーと美味しい紅茶の入れ方を学ぶ。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。